

# OPEN CAMPUS

文学部歴史学科  
文化財・考古学コース  
コース別説明



文学部 歴史学科

# 文化財・考古学コース

FACULTY OF LITERATURE  
DEPARTMENT OF HISTORY  
CULTURAL HERITAGE AND ARCHAEOLOGICAL STUDIES COURSE

「学び」の分野

美術史・工芸史

考古学

文化財保存学

こんなキミに学んでほしい

- 日本・東洋の美術品・工芸品、原始古代の考古資料（遺跡や出土品）、博物館・美術館・古寺などに興味があり、疑問に対して自ら解決しようとする人
- 日本・東洋の歴史や文化を学び、美術品や考古資料の観察と分析を通して事実を明らかにする思考力を身につけたいと思う人

ワンポイントアドバイス

例えば、美術館・博物館は展示だけではなく、収蔵・保存・修復などの役割を担っています。美術館や出土品などの文化財を、後世に残していくのはなぜでしょうか？ また、そこから何が見えてくるといえますか？

このコースがめざすこと

実物から生きた情報を読み取り、考察する

文化財（美術史・工芸史）、考古学、文化財保存学などの分野を総合的に学びます。仏像や工芸品などを学ぶ「美術史・工芸史」、遺跡や発掘出土品などを学ぶ「考古学」、美術館・博物館の実務について学ぶ「博物館学」、文化財を守る「文化財保存学」について、経験豊かな教員陣

が実物の文化財を用いて実践的な指導を行っています。また、美術館・博物館、寺社、発掘現場などに出かけ、体系的な学びを数多く取り入れることで、文化財という「物」から「生きた情報」を読み取り、考察する力を伸ばしていきます。

3つのポイント

## 1 学びの柱は「文化財」「考古学」「博物館学」「文化財保存学」

「文化財」では仏像や彫刻、工芸品の知識や美術史・工芸史について学びます。「考古学」では遺跡や、そこからの出土品について理解を深めていきます。

## 2 本物で学ぶ。現場で学ぶ

文化財・考古学コースでは資料や文献を調べるだけではなく、「実物を身近に見ること」「現場に足を運んで学ぶこと」を大切にしています。

## 3 進路は「博物館」だけではありません

資料収集やそれらを調査分析、管理する能力は、博物館・美術館の学芸員や研究者に留まらず、教育関係や、官公庁など多様な業界・企業で生かすことが可能です。

カリキュラム

※2019年度履修予定科目

1 年次

文化財・考古学の概観を  
理解しよう

基礎部門

基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ  
基礎資料科学  
歴史入門  
仏教と歴史  
地域と歴史  
環境と歴史  
立憲の歴史と歴史  
人文地理学 A  
歴史地理学  
考古学概論  
美術工芸史概論  
文化財の発見  
調査発掘概論  
民俗学概論  
博物館概論

2 年次

文化財・考古学について  
理解を深めよう

分野別基礎部門

美術史概論研究  
考古学概論研究  
工芸史概論研究  
考古学実習 A・B  
文化財文献概論  
人文地理学 B  
自然地理学 A・B  
地誌学

3 年次

現場分野を学び、  
自分の第一歩を踏み出そう

応用部門・専門研究部門

考古学特論  
考古学実習 B  
工芸史特論  
文化財特論  
文化財保存学特論研究 A・B  
専門実習 A・B  
博物館実習 I・A・C

4 年次

調査、研究を行い、  
卒業論文に仕上げよう

卒業論文・卒業研究

応用研究 A・B  
博物館実習 II

卒業論文

- 高橋寺岡内室堂の木造田天正金について ● 平塚藤原屋敷中興發菩提会について ● 五箇堂子の襦袢研究
- 正倉院宝物の歴史と文化について
- 縄文時代におけるヒスイ製刀剣の発掘
- 縄文時代末部群の持統天皇 ● 弥生土器の製造 ● 筑前付大刀の携用者など

T-Duck LIVE!



文化財・考古学コースの学び



イチオシ!授業

考古学実習 A

基礎的な測量技術、記録方法を学び、発掘調査作業（野外調査）の基本スキルを身につけます。演習の発掘調査の見学も行います。

「本物」に触れる学びで文化財の魅力を味わおう。

三枝江里奈

文化財・考古学コース 3年 | 東京都 豊台高等学校 出身

文化財・考古学コースの特長は、遺跡調査や測量など、専門的な演習に1年次のうちから挑戦できること。「考古学実習」では、実際の発掘現場を想定して測量スキルを身につけます。本物の土器に触れながら文様の移り変わりを調べたり、実際に石器を製作してみたり……。教授と一緒に学外でフィールドワークを行う機会が豊富にあります。座学形式の講義では、仏像の表情や形を読み解くことで当時の世相や美的感覚が理解できると知り、ますます文化財の世界に夢中になりました。将来の夢は、博物館の学芸員。まだまだ知られていない文化財の魅力を多くの人々に伝えたいです。

2年次時間割の一例

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1						
2	博物館概論・メチア論	英語3-H	博物館実習I	古記録概論		博物館概論II
3	日本古代史概論研究A			工芸史概論研究	考古学実習A	基礎資料科学
4	博物館概論	考古学概論研究				
5						
6						

この授業について詳しく知りたい人はこちら! >>>



https://www.taisho.ac.jp/faculty/syibusu/

文化財・考古学コース 担当教員

名前	職階	専門	研究内容
加島 勝	教授	美術工芸史、文化財学	仏教工芸品がどのようにして日本に伝わり、受容・展開したかを実物作品に即して明らかにする。
緑田良道	教授	考古学、博物館学	縄文や縄間など古代の墓葬美術の研究。古代における日本列島と東アジアとの関係。
野宮直正	教授	考古学	旧石器～縄文時代を対象にした系統発掘研究。実践を通して考古資料を解釈・理解する。

教員情報はこちら!



https://www.taisho.ac.jp/chinavi/



# 国宝をみる

先人が残してくれた文化財の中でも、とくにすぐれたみんなの宝が国宝です。凝視することで国宝のもつ奥深い力が伝わってきます。



① 袋笠 禪文銅鐘 高さ43.0cm, 伝讃岐国出土, 東京国立博物館蔵(→p.10)



② 人物画像鏡 直径19.8cm, 陽田八幡神社, 和歌山県(→p.27)



③ 鎧輪武装男子立像 高さ131.5cm, 群馬県太田市出土, 東京国立博物館蔵(→p.30)



④ 七支刀 長さ74.9cm, 石上神宮, 奈良県(→p.27)



⑤ 執金剛神像 像高174.0cm, 東大寺法華堂, 奈良県(→p.50)



⑥ 金銀鍍銀首水瓶 高さ49.8cm, 法隆寺蔵納, 東京国立博物館蔵(→p.50)

⑦ 『過去現在絵因果経』(部分) 縦26.5cm, 横10.95m, 東京芸術大学蔵(→p.90)



觀者能言奇者得  
 視狂者得正拘痲疾  
 病普賢除愈枯木茂  
 華鬘華榮秀潤池曾  
 滿香風清塵障省乳  
 不鳥鷹鴛鴦異類  
 衆鳥蟻如相集出和  
 雅音有如是等種種  
 科瑞既入城已真頻  
 比沙在王俱法竹園  
 亦時諸天滿虛空中  
 時王即便于執寶瓶  
 咸以香水於如來前  
 而作是言我今以此行  
 國奉上如來及比丘  
 僧唯願哀隨為我初  
 受作此言已即便捨  
 水舍時世尊默然受  
 之流惱呪願  
 若人能布施 斷除於慳貪  
 若人能忍辱 永離於瞋恚  
 若人能進喜 則速於惡法  
 若人能修行 速至般涅槃  
 若有貧窮人 凡財可布施  
 見地須施捨 而生隨喜心  
 隨喜二福眼 觀者亦見其





**正倉院宝庫** 東大寺の倉庫群のうちの一つ。右より北・中・南の三つの倉にわかれ、聖武太上天皇の遺品や正倉院文書などをおさめていた。三角材を井桁に積み上げた校倉造がみられ、高床式の構造をもつ。閉庫には天皇の許可がある「勅封」の倉であった。(奈良県)

建築では、寺院や宮殿に礎石・瓦を用いた壮大な建物が建てられた。もと貴族の邸宅であった法隆寺伝法堂、もと平城宮の宮殿建築であった唐招提寺講堂のほか、東大寺法華堂・唐招提寺金堂・正倉院宝庫などが代表的で、いずれも均整がとれて堂々としている。

彫刻では、表情豊かで調和のとれた仏像が多く、以前からの金銅像や木像

**おもな建築・美術作品**

**【建築】**  
法隆寺夢殿・伝法堂  
東大寺法華堂(三月堂)・転唐門  
正倉院宝庫(p.58)  
唐招提寺金堂・講堂

**【彫刻】**  
興福寺八部衆像(乾漆像)(阿修羅像(p.59))  
× 十大弟子像(泥津像)  
東大寺法華堂不空罽索観音像(乾漆像)(p.59)  
× 日光・月光菩薩像(唐像)(p.59)  
× 執金剛神像(彫像)(口絵②)  
× 戒壇堂四天王像(塑像)(p.58)

唐招提寺鑑真像(乾漆像)(p.57)  
× 金堂盧舍那仏像(乾漆像)  
聖林寺十一面観音像(乾漆像)  
新薬師寺十二神将像(塑像)

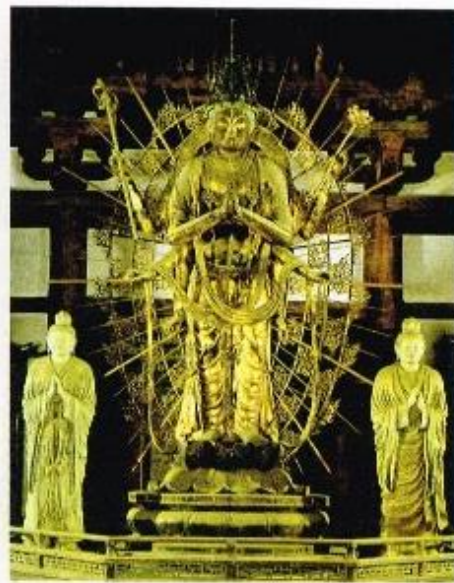
**【絵画】**  
正倉院鳥毛立女屏風  
葉師寺吉祥天像(p.59)  
過去現在絵因果経(口絵⑦)

**【工芸】**  
正倉院螺鈿紫檀五絃琵琶(p.59)  
× 漆胡瓶  
× 白磁博覧  
東大寺大仏殿八角灯籠  
金銀鍍羅首水鏡(口絵③)



**興福寺阿修羅像** 光明皇后が造営した興福寺西金堂に安置された護法神の八部衆の一つ。乾漆像。胡身の少年を思わせる清浄な像容と表情をもつ。(高さ153cm, 奈良県)

**東大寺戒壇堂広目天像** 仏法を守護する四天王の一つで、天平の塑像。他の堂から移され、現在は戒壇の北西隅に安置される。(高さ163.0cm, 奈良県)



**東大寺法華堂不空罽索観音像** 法華堂の本尊。乾漆像。絹索によって多くの人びとを救うという観音で、呪的な威厳に満ちた像容。玉・ガラスを散りばめた宝冠や光背などにも高い工芸技術がみられる。(高さ362cm, 207.2cm(右, 日光菩薩像), 204.8cm(左, 月光菩薩像), 奈良県)

のほかに、木を芯として粘土を塗り固めた塑像や、原型の上に麻布を幾重にも漆で塗り固め、あとで原型を抜きとる乾漆像の技法が発達した。東大寺法華堂には、乾漆像の不空罽索観音像を中心に、塑像の日光・月光菩薩像・執金剛神像など天平仏がまともまて伝わってきた。また興福寺では、乾漆像の釈迦十大弟子像や八部衆像(阿修羅像を含む)などが知られる。

絵画の作例は少ないが、正倉院に伝わる鳥毛立女屏風の樹下美人図や、葉師寺に伝わる吉祥天像などが代表的で、唐の影響を受けた豊満で華麗な表現である。釈迦の一生を描いた過去現在絵因果経にみられる絵画は、のちの絵巻物の源流といわれる。

工芸品としては、正倉院宝物が有名である。聖武太上天皇の死後、光明皇太后が遺愛の品々を東大寺に寄進したものを中心に、服飾・調度品・楽器・武具など多様な品々が含まれる。螺鈿紫檀五絃琵琶・漆胡瓶・白瑠璃碗など、きわめてよく保存された優品が多く、唐ばかりでなく西アジアや



**葉師寺吉祥天像** 吉祥天は福徳をつかさどる女神で、麻布に描かれている。(高さ53.3cm, 奈良県)

**正倉院螺鈿紫檀五絃琵琶** (正倉院宝物) ラクダに乗った西域の胡人が描かれている。(表面, 全長108.1cm, 幅30.9cm, 奈良県)







釈迦如来坐像  
(飛鳥大仏)

銅造 像高275.2cm

飛鳥時代・推古17年(609)

























学芸員になるには



# 博物館の二つの役割

① 博物館資料の収集、保管、展示、  
調査研究

② 一般公衆の教養、調査研究、レク  
リエーションに供する

\* 文化財の活用(文化財保護法改正)

(博物館法 第2条)



## 履修科目(21単位)

- ・生涯学習概論 4単位
- ・博物館概論 2単位
- ・博物館経営論 2単位
- ・博物館資料論 2単位
- ・博物館資料保存論 2単位
- ・博物館展示論 2単位
- ・博物館情報メディア論 2単位
- ・博物館教育論 2単位
- ・博物館実習(Ⅰ・Ⅱ)3単位
- ・選択科目 2科目4単位  
(文化史・美術史・考古学・民俗学)



# 博物館実習の授業の様子













# 学内推薦実習先

- ・東京国立博物館
- ・国立科学博物館
- ・長谷寺
- ・平等院ミュージアム鳳翔館
- ・輪王寺
- ・遊行寺宝物館
- ・信濃国分寺
- ・平泉(中尊寺、毛越寺、平泉文化遺産センター、  
柳之御所資料館) 等































